

令和7年度 国際科 学校評価

〈児童アンケートの結果〉

○国際科の授業で、誰とでも積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
1学期末	56.9%	33.9%	9.2%	0.0%
2学期末	58.3%	35.2%	6.5%	0.0%

○世界の国々および日本の文化や伝統のよさを知ろうとしている。

	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
1学期末	63.3%	25.7%	10.1%	0.9%
2学期末	53.7%	37.0%	9.3%	0.0%

アンケートから見えた成果と課題

○アンケート①「国際科の授業で、誰とでも積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。」においては1学期に比べ2学期の方が「すごくあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した児童の割合が増えた。国際科のみならず、「かかわりを通して 考えを広げ深める」を重点目標に、関わり合いの中で学びを創り出していった成果だと考える。

○アンケート②「世界の国々および日本の文化や伝統のよさを知ろうとしている。」については「すごくあてはまる」と回答した児童の割合が減り、「ぜんぜんあてはまらない」と回答した児童がいなくなつた。「ぜんぜんあてはまらない」と答えた児童がいなくなつたのは良かったものの、もっと多くの児童が世界の文化に興味を持たせられるような学習活動を展開していく必要があると考える。年に2回実施している国際交流会を中心とし、良い機会と捉え、工夫した取組を展開していきたい。

学校関係者評価

9月18日に蘿神小学校コンピュータールームにて行われた学校運営協議会にて、国際科について意見交換をした。

子どもたちが楽しく英語学習に取り組んでおり、これが高学年の学習につながっていくのを感じたという意見をいただいた。また、国際大学があることの利点を生かしてもらいたいといった声に加え、一つ一つの単語の学習を丁寧にしたり、英語を話せるように繰り返し発音したりといった授業も大切だが、他者とのコミュニケーションツールの一つとして英語を扱い、もっとコミュニケーションをたくさんとるような授業を展開してほしいといった要望もあがつた。